



YMNだより

平成29年11月3日 第42号
発行 やまがたメイカーズネットワーク
(略称: YMN 代表 大津 清)
涵養塾(山形市清住町)内 YMN 事務局

3Dプリンター組立てワークショップを開催しました

去る平成29年8月16日(水),17日(木)の2日間にわたって、山形県立鶴岡工業高等学校を会場に、3Dプリンター組立てワークショップを開催しました。

これは、荘内銀行ふるさと創造基金の助成を受けて、行われたものです。県産部品をたくさん使用した3Dプリンターを組み立て、オリジナルキーホルダーをデザインし、出力するまでを行いました。参加した羽黒高校の生徒さんたちは、新校舎建設で取り壊しとなった思い出深い旧校舎を3Dプリンターで製作したいと参加しました。データづくりもお手伝いしたいと思います。

鶴岡工業高校、羽黒高校の先生、生徒の皆さんありがとうございました。

●『3Dプリンターこう作る』 山形新聞平成29年8月18日付



子どもゆめ基金助成第1回ロボット教室を開催

去る平成29年10月15日(日)午前10時30分~午後4時30分に、山形県産業科学館4階発明工房において、平成29年度子どもゆめ基金助成事業「創造力を発揮しよう!~ロボット教室・電動義手教室」の第1回ロボット教室を開催しました。

内容は、レゴマインドストームEV3を使いトレーニングロボットの製作とプログラミングの基礎学習(ライントレースプログラミングまで)を行いました。

参加者は、課題解決に向けて、創意工夫を凝らしながら、楽しんでやっていました。真剣にやっている子どもたちの姿は素晴らしい。その姿に胸が熱くなりました。

次回は、11月12日(日)に山形県産業科学館2階フリースペースで、作成したロボットのデモ走行と解説を行う予定です。

ぜひ、ご覧ください。



会員の取り組み

鶴岡工業高校『触れる日本地図を視覚障害者に贈呈』

山形県立鶴岡工業高等学校では10月30日(月)に、生徒が3Dプリンターで作った触れる日本地図を視覚障害者に贈呈しました。

これは、視覚障害者の方より、やまがたメイカーズネットワーク(YMN)に視覚障害者向けの日本地図の依頼があったことがきっかけで始まりました。都道府県の輪郭がわかる日本地図を3Dプリンターで出力しました。

鶴岡工業高校のみなさんありがとうございました。

また、同校では、10月12日、13日に開催された山形大学工学部主催の国際会議「SmaSys(スマシス)2017」に小型風車の羽根について研究発表しています。この発電効率の良い形状を調べる実験の羽根を3Dプリンターで製作しています。これからも大いに3Dプリンターを活用して下さい。

- 『触って分かる 地図作成』 山形新聞平成29年9月12日付
- 『県境はっきり 触れる地図』 山形新聞平成29年9月12日付
- 『触る地図、夫妻の元に』 山形新聞平成29年10月31日付
- 『風車の研究 国際会議へ』 山形新聞平成29年10月5日付